

2019年3月1日

パナソニックインパルス コンプライアンス徹底に関する取り組みについて

平素よりパナソニックインパルスにご声援いただき、誠にありがとうございます。

昨年2018年11月26日、当時所属していた選手2名が大麻取締法違反容疑で逮捕された件につきましては、関係者やファンの皆様に多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

パナソニックインパルスでは事態を重く受け止め、パナソニック株式会社エコソリューションズ社に設置されたコンプライアンス委員会（委員長：パナソニック株式会社 岩井執行役員）の指導のもと、違法薬物の問題だけでなく、様々な犯罪リスクについて議論、研修を重ね、具体的なコンプライアンス違反行為撲滅活動に取り組んでまいりました。

この度、コンプライアンス委員会に対し、撲滅活動の取り組み実績、および今後の継続的なコンプライアンス活動計画を報告し、2019年3月1日よりチームとして活動を再開することが承認されました。これを機に、改めて「アメリカンフットボールを通じて人びとに感動や活力を提供すると共に、本活動を通じて一流の社会人を育成・輩出し、社会の発展に貢献する」という理念に立ち返り、チーム一丸となってコンプライアンス遵守に取り組むことを誓います。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

パナソニックインパルス